

## 要望書で頂いた皆様のご意見

東京外環道路計画の反対に関する要望書

東京外郭環状道路の整備に係わる要望について

国土交通大臣 扇 千景殿

国土交通大臣 扇 千景様

## 東京外環道路計画の反対に関する要望書

【外環道路反対連盟】

謹啓益々ご清祥の段、心よりお慶び申し上げます。首都、東京の中心から十五<sup>キ</sup>〇圏を環状に計画されております高速道路、東京外郭環状線(いわゆる外環道路)問題につきまして、計画沿線の住民として、この計画に反対している理由を、申し述べさせていただきます。

既に担当部門の方より、いろいろとレクチャーを受けられたことと思いますが、行政側(国・都)と地域住民との話し合いの場である「東京外かく環状道路に関する地元団体との話し合い」が、昨年の四月に第一回目が開催され、七月、十一月と三回目を数えております。

ところが、昭和四十五年十月に根本建設大臣が、参院建設委員会で、「新しい構想を生かして大多数の住民の納得を受けるプロジェクトを作ることを指示してあり、この条件の整うまで外かんの東京都部分はしばらく凍結する」と発言されましたが、未だにそこに到達していません。

本日担当大臣として、昭和四十三年四月の保利建設大臣に続き、三十三年ぶりに地上から外環道路計画予定地を視察していただいたことは大変うれしく思っております。昨年十一月には中山建設大臣が、上空からの視察を行っておりますが……。

しかしながら私どもは現計画における構造のみの変更による道路建設を促進されるならば「絶対反対」と申し上げなければなりません。計画反対理由については、昭和四十一年三月の計画発表から反対運動を開始して以来同じであり、これは長年にわたって国・都にも認知されてきたものであります。私どもが反対する理由は、

計画予定地は既に閑静な住宅街、商店街ができあがっている。それを壊してまで外環道路を建設するのは、あまりにも住民に犠牲を強いるものであり、都市計画のあり方としても正しくない。

住宅密集地に高速道路を建設すれば、自動車公害が必ず発生する。(半地下方式、フタかえ方式、地下方式でも発生する)

環状迂回道路として都心に近接しすぎるため、十分にその機能を果たせない欠陥計画であり、都市計画の常識に反する。

等の理由により、この場所(計画予定地)に道路建設を行う必要はないと申し上げます。今日「構造」のみが地下方式との表現で、地域住民を惑わすような建設省、東京都の広報は、まやかしかありません。現計画が実行できないことは、計画決定自体が誤っていることであり、国・都はどのように責任をとるつもりなのでしょうか。

扇国土交通大臣に申し上げます。

「車優先から人間優先へ」

今や世界全体が環境保全を求めているなかで、東京都においては未だ車による公害問題が解決されない現在、また少子化が進むなか、十年後いや二十年後、日本全体の人口は益々減少し、自動車も進化するなかで、この平穏な環境を壊してまでこのルートに道路を造る必要性があると大臣は思われるのでしょうか。道路をいくら造っても解決は致しません。従来の道路計画のあり方そのものが見直しを求められている今日、30数年に渡って苦しみを受けている地域住民に対して、現計画の誤りの責任を明確にされ謝罪し、「ゼロ」からの出発による住民との話し合いでなければなりません、まず現計画を白紙に戻して下さいよう強く要望いたします。

どのようなことがことがあっても「凍結解除」などとは、軽々しく発言しないようお願いいたします。

35年振りに行政と地域住民とが話し合いをする場ができたのですから、住民の納得のいくプロジェクト作りを目指すべきです。

できますならば場を改めて、扇国土交通大臣と私どもと直接話し合いの場を設けていただければ幸いと存じます。併せてお願い申し上げます。

## 東京外郭環状道路の整備に係わる要望について

北野不動産管理研究会

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本日は、大臣が外郭環状道路の計画予定地である当地を視察し、現地の状況を把握していただきますことは、地域住民として大変ありがたく思っております。

私たち北野不動産管理研究会(会員数 33 名)は、中央自動車道とのジャンクション予定地周辺で、主に農業を営んでいる地権者です。主な活動内容は、昭和 41 年の都市計画決定以来、外環計画による土地活用への影響を検討、研究をしてきております。

さて、外環計画につきましては、ご承知のように、都市計画決定されて以来、30 年以上も長い間事業が凍結されてきております。

このため、計画予定地では、建物の建替えや新築等が大幅に制限され、新たな開発ができないことや、土地の価格が周辺に比べ安いいため財産的な価値が減少する事など、地域住民にとって、多大な犠牲を強いられてきてまいりました。

当該地には、中央自動車道との間に大規模なジャンクションやインターチェンジが計画されており、これらが建設されますと、自動車が集中し、排気ガスや騒音の発生等により、地域の環境が悪化することが懸念されます。

この地域における最大の課題は、現状のような事業凍結の状態がいつまでも続くことにより、住民が将来に向かって生活設計を立てられないことにあります。就きましては、このような現状を一日も早く打開するため、下記のような事項を要望いたします。

### 記

現状のまま事業凍結の状態が続くと、住民は将来の生活設計ができない。このため、事業を実施するか否かを、一日も早く明確にされたい。

もし外環の事業を実施するのであれば、早期に計画案を提示されたい。その場合、ジャンクションやインターチェンジの周辺では、自動車の集中により地域の環境が悪化することが予想される事から、環境保全措置を十分講じられたものとされたい。

外環の計画により、30 年以上にわたり、苦しめられてきた私たちの意見を今後十分に聴いて、計画の見直しに反映されたい。

## 国土交通大臣 扇 千景殿

【外環道路反対連盟 狛江地区、外環道路を考える会】

余寒なお厳しい折々、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて過日の外環道路予定地の視察は、私たち沿線住民の長年の要望でありました。TV ニュースや新聞報道によって当日の様式を知り、「地元民の意見を聴きたい」とのお言葉がありましたので、納得のゆかない点につき、意見を申しのべさせて頂きます。

一つには「都市計画は決定されているので路線の変更ではない」（朝日新聞 1/19 多摩版）「やりかけたら完成しないと」（産経新聞 1/19 東京版）と発言されていることです。

外環道が計画決定されてから 35 年も凍結されていたというそのこと自体が、この計画に根本的な欠陥があり、無理であったということの証明になるのではないかと考えます。それでもやりかけたことは完成させねばならないのでしょうか。この素朴な疑問に納得のゆく答えが頂きたいと思うのです。この道路の必要性から見直してほしい。私たちの願いは何故聴き入れられないのでしょうか。私は高齢者ですが、海外で暮していた期間以外は、一度も車を持たずに過ごしてきました。あると便利、と思った折もなくはありませんでしたが、我慢できないことはありませんでした。東京は電車・バス等公共の交通機関が発達しています。どうしても車が必要な時はタクシーが使えます。

車を減らすことの試みは求めても不可能なのでしょうか。

最近は何歳をとりましたのでタクシーにも時々乗りますが、その度に運転手と外環の話をしてします。

「いくら道路を作っても当座だけで、車はそれ以上増えるから同じこと」と言わなかった運転手は一人もいませんでした。

渋滞するから道路を作る。作った道路が又車で溢れる、といういたちごっこをこれ迄ずっと見てきた私たちは、いくらパンフレットに結構な数字をあげて説明されても、信じることはできません。体験から学んだことが一番強くしみ込んでいるからです。

本日配布されました外環ジャーナルに「男性だけでなく、女性の意見も色々聞きたい」とありましたので、女性の立場から一つ書かせて頂きます。外環道路建設による住環境の破壊、公害の発生を一番心配しているのは、家族の健康・無事を願う主婦なのです。現状のように各自治体が行う前から、ゴミ減量に、資源のリサイクルに石けんを使って水を汚さないように、地元で黙々と運動を続けて来たのも主婦たちでした。

現在私の住む外環沿線狛江地区は、東傾に国分寺崖線や野川の流れ、野鳥の集まる好環境で、野川沿いの遊歩道はウォーキングを楽しむ年配の男女、犬を散歩させる住民たちの天国です。40 年来この地に住み、恵まれた環境で子育てをして来られました。子孫にこの環境を今より悪くすることなく遺りたいと住民は願っています。環境問題は福祉問題にも通じます。環境汚染によって最も被害を受けるのは弱者、子どもと老人だからです。外環の地下化といえども、環境対策は？ 公害対策は？ と主婦であり母親である私たちの不安は尽きません。

ざっくばらんに申しませう。作る側より作られる側の方が傷みがある分、慎重の上にも慎重にならざるを得ないのです。あらゆる観点からみて外環道路は必要かという所からの論議がなされるべきだ。凍結解除はそれが終わってから、住民合意の上で出してほしいと願っております。

## 国土交通大臣 扇 千景様

【外環道路反対連盟 杉並支部さくらの会】

先日大臣に於かれましては、三鷹武蔵野市の外環予定地を巡視なさいました。誠に御苦勞様で御座居ました。

けれど其の後の貴女様の評判は大変悪いものです。私共 30 数年の苦勞は少しも判って下さらない自信満々のあのお言葉…。三十数も経てば技術の発達なんて云うのはだれでも判って居ります。私共は道路はいらないと言って居るのです。

41 年に私達の反対運動が判って頂き凍結となりました。凍結と云う事は役所言葉で、住民は中止と云うふう  
に思いこんで居りました。

以来三十数年、突如又話が出てまいりました。住宅地をペン 1 本で線を引かれ、住民の気持は全然判って居られない。昔の悪代官と同じように思ひます。国民は政府の言う事やることは、だまって従わなければならないのでしょうか？私はお上と云う言葉は大きらいです。小さな国民でも大きな誇りを持っております。永年の計画(ダム・他)はどんどん中止になって居りますのに、道路だけは造りますでは納得出来ません。住民を泣かしてまで、しかも莫大な税金をつかって迄、外環はもういりません。

公共事業と云えども潔ぎよい撤退があっても良いのではないのでしょうか。是非御考え下さい。住民は三十数年は年を取り過ぎております。是非御一考をお願い申し上げます。